

精算表練習問題

次の「決算整理事項等」にもとづいて、答案用紙の精算表を完成しなさい。なお、会計期間は1月1日から12月31日までの1年間である。

「決算整理事項等」

1. 普通預金口座から買掛金¥28,000を支払ったが、この取引の記帳がまだ行われていない。
2. 仮払金は、従業員の出張にともなう旅費交通費の概算額を支払ったものである。従業員はすでに出張から戻り、実際の旅費交通費¥15,000を差引いた残額は普通預金口座に預け入れたが、この取引の記帳がまだ行われていない。
3. 売掛金の代金¥15,000を現金で受け取ったさいに以下の仕訳を行っていたことが判明したので、適切に処理する
(借方) 現金 15,000 (貸方) 前受金 15,000
4. 売掛金の期末残高に対して3%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
5. 期末商品棚卸高は¥198,000である。売上原価は「仕入」の行で計算する。
6. 建物および備品について定額法で減価償却を行う。
建物：残存価格ゼロ 耐用年数30年
備品：残存価格ゼロ 耐用年数5年
7. 保険料のうち¥60,000は10月1日に向こう1年分を支払ったものであり、未経過分を月割で繰延べる。
8. 12月1日に、12月から翌年2月までの3か月分の家賃¥45,000を受け取り、その全額を受取家賃として処理した。したがって、前受分を月割で繰延べる。
9. 給料の未払分が¥45,000ある。

精 算 表

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	82,000						82,000	
普通預金	569,000		15,000	28,000			556,000	
売掛金	250,000			15,000			235,000	
仮払金	30,000			30,000				
繰越商品	326,000		198,000	326,000			198,000	
建物	870,000						870,000	
備品	360,000						360,000	
土地	1,800,000						1,800,000	
買掛金		198,000	28,000					170,000
前受金		68,000	15,000					53,000
貸倒引当金		3,000		4,050				7,050
建物減価償却累計額		522,000		29,000				551,000
備品減価償却累計額		180,000		72,000				252,000
資本金		1,834,000						1,834,000
売上		5,190,000				5,190,000		
受取家賃		45,000	30,000			15,000		
仕入	2,360,000		326,000	198,000	2,488,000			
給料	1,250,000		45,000		1,295,000			
通信費	35,000				35,000			
旅費交通費	28,000		15,000		43,000			
保険料	80,000			45,000	35,000			
	8,040,000	8,040,000						
貸倒引当金繰入			4,050		4,050			
減価償却費			101,000		101,000			
(前払)保険料			45,000				45,000	
前受家賃				30,000				30,000
未払給料				45,000				45,000
当期純(利益)					1,203,950			1,203,950
			822,050	822,050	5,205,000	5,205,000	4,146,000	4,146,000

一つにつき3点。合計31点。